

SSKS

2024. 10月号

No. 567

せんかわだより

～あるがままに あたりまえに～



「はたらく」ことで豊かなくらしを



公益財団法人ヤマト福祉財団が主催する「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」に、チャレンジャーの佐藤さんが登壇しました。発表前は緊張して何度も水分補給するなど、そわそわした様子でしたが、本番はとても堂々と話していたのが印象的でした。

お給料をもらってどのようなことに使っているかを、会場の皆さんの前で写真を紹介しながら話してくれました。お給料は好きなCDを買ったり、メイドカフェに行ったり、美味しいものを食べたりと、考えながら使っているそうです。

たくさん仕事がある時はたいへんですが、お給料を使って好きなことができるということは、最高の喜びなのではないでしょうか。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>



はたらく力を伸ばす具体的な支援づくり

～ しごとに向かう態度の育成・獲得へ ～

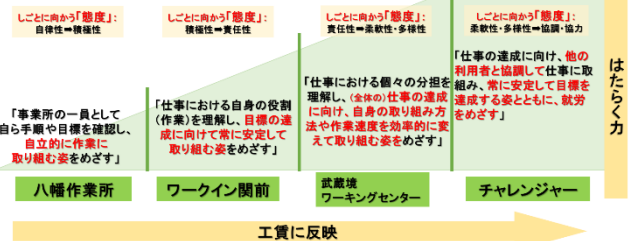
武蔵野千川福祉会における「はたらく場」づくりは、1976年の無認可共同作業所「千川作業所」の設立から始まり、今日にいたるまで、障害のある方が地域であたりまえに働くことの支援にとりくんできました。そして、法人理念のもと、障害のある方、支援する職員、地域のために、事業の維持とさらなる発展を進めていく使命があります。そのためにも、中・長期的な視点をもって事業を展開できるよう、就労継続支援B型事業中期計画を策定しています。

中期計画における重点的なとりくみの一つに、「はたらく力を伸ばす具体的な支援づくり」を掲げています。私たち就労継続支援B型事業における支援は、「はたらく力を育て、はたらく力を向上し、しごとに向かう態度を育てる」ことを目指しているからです。

しごとに向かう態度の育成・獲得は、毎日の積み重ねであり、一つひとつ丁寧に支援を進めていくことが大切です。具体的には、利用者にとってわかりやすい作業提供の方法を考え、一人ひとりの力をアセスメントし、力が発揮できる役割を担ってもらいます。そして、これらが最大限に発揮できる環境をつくり、最適な環境の中で育成・獲得を進めていくことで、しごとに向かう態度につながるようになっています。

4事業所の機能(めざすこと)

はたらく力を育て⇒はたらく力を向上
⇒しごとに向かう態度を育てる



【 就労継続支援B型事業所のめざすこと 】

しごとに向かう態度の育成・獲得に向けて

就労継続支援B型事業は、ダイレクトメールの封入封緘を作業種として4事業所を展開しています。4事業所では「しごとに向かう態度」を育てるため、各事業所がめざす態度に向けた環境づくりと支援を進めています。それぞれの事業所は、しごとに向かう態度の育成・獲得にむけて機能を分けています。今号では、機能別の事業所においてとりくんでいる内容について紹介します。



【 見本によって自立的にとりくみます 】

八幡作業所では、「事業所の一員として自ら手順や目標を確認し、自立的に作業にとりくむ姿」をめざしています。自立的とは、自分で物事を行うことを指しています。生産活動の場面に応じて一人ひとりの役割を視覚的にわかりやすく示すとともに、手順通りに作業の基本を身につけ、利用者が自ら確認してとりくむことができるようになっています。どの作業でも見本を提示することで、利用者は見本を確認しながら作業し、作業中に迷った時には職員と一緒に見本を確認することをくりかえしています。

ワークイン関前では「仕事における自身の役割（作業）を理解し、目標の達成に向けて常に安定してとりくむ姿」をめざしています。目標の達成に向けて安定した姿とは、目標に向けた具体的な行動と継続する力を指しています。『誰が、何を、どこで、どのように』がわかるように役割を確認してから作業を進めています。仕事における役割を明確にすることで、いつでも安定してとりくむことができるようにするために、1日3回振り返りの中で評価を行っています。決められた役割を最後までやり遂げたときの達成感は大きく、利用者同士で拍手やハイタッチをして喜びを分かち合う姿も見られます。



【 明確な役割の提示が安定につながります 】



【 全体を理解して調整しています 】

武蔵境ワーキングセンターでは「仕事における個々の分担を理解し、（全体の）仕事の達成に向け、自身のとりくみ方法や作業速度を効率的に変えてとりくむ姿」をめざしています。効率的にとりくむ姿とは、スケジュールを確認することで作業の全体像の把握や目的目標を理解すること、進め方の見直しをするということ指しています。どのくらいの量があるのかを理解するために、自分たちで作業予定を記入して朝の会で発表しています。

一日の全体の目標を理解し、関心を深めることで、さらにはたらく意欲へとつなげていきます。また、個人の目標を毎日設定し、達成に向けて挑戦しています。はたらくことへの興味や関心が高まってくると、次に行う作業予定を職員に聞きにくる姿が見られています。

チャレンジャーでは、「仕事の達成に向け、他の利用者と協調して仕事にとりくみ、常に安定して目標を達成する姿とともに、就労を目指す」ということを目標としています。目標達成と協調に向けた姿とは、利用者間で意見を伝えあい、理解しようとするを指しています。チャレンジャーではこれまでに身につけたはたらく力や態度を、別の場所でも発揮できるように施設外就労を行っています。また、他の利用者と意見を伝えあう経験として、必要な役割を利用者同士で決めています。活動の方法を考えることや経験をを通して協調してとりくむことができるようにしています。



【 意見を伝えあい、協力してとりくみます 】

生涯にわたって力は伸びていく

しごとに向かう態度の育成・獲得を、はたらく環境の中で支援していますが、さらに「学び」の環境もつくっていきたくと考えています。しごとに向かう態度は、社会生活を送る態度にもつながっているからです。そのため、はたらく環境の中だけの支援ではなく、楽しみや興味関心・余暇・健康などについて、生涯を通して学び続けることが大切だと考え、「学び」についてもとりくみ始めました。はたらくことが、より豊かな暮らしにつながるように支援していきます。

（文責：佐藤 資子、亀村 知恵美）

第22回 むさしのあったかまつり

日時：10月19日（土）

10:00～14:00

会場：むさしのエコreポート

今年のお祭りも楽しいこと間違いなし！屋台やフリーマーケット、ゲームコーナー、ダンスなどのステージもあります。

武蔵野千川福祉会は、物販を行います。当日、会場でお待ちしています。



【とびっくす】～インスタだより vol.16～

ニュースタッフ紹介

今年度は9名の新卒者を迎えることができました。

インスタグラムでは3名ずつ3回にわたって紹介させていただきました。是非訪れてみてください。

入職した理由や今後チャレンジしてみたいことなど、彼らの熱意や希望に満ちた眼差しが忘れかけていた初心を思い出させてくれました。



今月の動向 ～令和6年9月～

- 5日(木) 実習調整会議
- 6日(金) 階層別研修(管理職)
- 11日(水) おひさま学習会・生活介護学習会
常任理事会
- 13日(金) 南町福祉の会説明
- 17日(火) さくらんぼ学習会・地域支援部学習会
- 19・20日(木・金) チャレンジャー旅行
- 24日(火) B型事業所学習会
- 26・27日(木・金) ワークイン関前旅行
- 29日(日) OCT 講座

来月の予定 ～令和6年10月～

- 7日(月) さくらんぼ学習会
常任理事会
- 9日(水) 慶光会様見学研修(～11日)
- 13日(日) 生涯発達RSC研究会
- 16日(水) おひさま学習会・生活介護学習会
- 17・18日(木・金) 武蔵境WS旅行
- 23日(水) B型事業所学習会
常任理事会
- 29日(火) 障がい者の就労を考えるつどい2024
- 31日・11月1日(木・金) 八幡作業所旅行



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>

<発行人> 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 東京都世田谷区福形3-1-17-102 TEL 03(6277)9611

<編集人> 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 東京都武蔵野市境南町4-20-5 TEL 0422(30)0022 定価 50円